

公表:2021年 8月 20日 職員9名

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスあすな

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		1	1つのフロアで様々な療育(小集団、集団活動)を行っている。	(少し狭い)簡易的な仕切りや、区切る事でスペースを確保していきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	9			送迎スタッフを配置するなど役割分担をし、工夫を行っている。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8		1	絵カードなど視覚支援を多く取り入れ、身の回りの物や収納スペース、洗面所など、児童に分かりやすい空間になっている。	一軒家なので階段がある。バリアフリー化はしていないが、階段やトイレなどに手すりや安全柵などの配慮をしている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9			掃除、除菌、換気を(新型コロナウイルス感染症予防も)徹底し、子ども達の活動に合わせた空間作りをしている	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9			ミーティングを毎日行い月に1度全体会議を設けている。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9			保護者に療育内容のアンケートを取ってよりよく改善している	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9			ホームページ、ブログの更新毎週行っている。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	3		有資格者に相談し、定期的に訪問してもらい、意見をもらい業務に反映させている。	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			与えられた研修だけではなく、職員の希望する色々な研修に全職員が参加している。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9			アセスメントに十分に時間を掛け、保護者のニーズに沿って全職員でミーティングを行い計画を作成している。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	1		独自のアセスメントシートを使いガイドラインに沿って行っている。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	1		療育内容を具体的に話し合い、支援内容を設定している。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9			支援計画が見やすい場所にあり、職員が確認しやすい工夫を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9			全職員で立案し月単位でプログラムを計画し、毎日のミーティングでも意見交換している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			ビジョントレーニング、SSTに力を入れ、2か月前からプログラムを編成し、向上出来る様に、工夫をしている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	9			個別の時間をどのように設けるか、ミーティングで計画し作成している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			毎日必ずミーティングし、プログラムの確認と工夫をし、役割分担をしている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9			毎日振り返りを行い、その日に出動していない職員にも、相談、報告、周知できるようにしている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			提供記録以外にも、ビジョントレーニングや課題を残し、記録を取っている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9			毎月、全体会議や、日々のミーティングや、モニタリング会議で意見交換をし、支援計画の見直しについて話合っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	4	1	子どもの状況に精通した担当者が参加している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	3	1	相談室、学校、関係機関と連携をとっている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	1	4		通所していない。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	2	4		通所していない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	2			現在は移行支援の対象者はきていない。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	2		保護者の意見に沿って行っている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2	1	外部研修に積極的に参加し、児童が専門機関を利用した場合保護者や、専門機関から、結果や助言の報告を受けている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	5		事業所内の療育プログラムを充実させるためにプログラムを組んでいるため、今は、考えていない。

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	2	5		機会とタイミングがあれば考えてみたい。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9				連絡帳や送迎時、保護者に状況を伝えたり、相談を受け、月に1回家庭連携をし共有できるようにしている。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	3	3		ペアレントは行ってないが、共通支援が行える様に、協力を求める事もあるが、専門的なペアレントトレーニングは実地していない。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9				面談時間を多くとり説明している。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	1			面談時に時間を多くとり説明の上確認印を受領している。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9				送迎時や、毎月の家庭連携、電話等でも、相談を受け、適切な助言、支援に努めている。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	4	2		「親の集い」を月に一度設けているが、コロナの影響で今は中止している。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9				迅速に対応できるよう、保護者の要望に応えられるように、努めている。体制の整備は、出来ている。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9				毎月、お便り(あすなニュース)、レク表、ブログなど、多く行っている。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9				職員全員で行い、注意を呼びかけあえる環境にしている。
	③9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9				保護者、子どもたちへの愛情と配慮を心掛けている。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	4	2		今は、コロナで出来ていないが、コンサートやご近所との交流を大切にしている。
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9			
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9				訓練についての話し合いをし、年に2回防災訓練をしている。
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	9				保護者からしっかり調査をして対応できるようにしている。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	6	2	1	保護者から詳しく話を聞き対応している。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			ヒヤリハットを全体会議で話し合い共有している。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9			虐待の研修を事業所内で行い、スタッフ内で注意をしあえる環境にしている。マニュアルあり。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	2	2		身体拘束をしなければならない児童はいないため、支援計画への記載はしていない。保護者の意向に沿ったり、事業所の意向を伝え理解してもらえるようにしている。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。